

間欠的な赤色尿と息切れ

50 歳男性 書籍 909 頁参照

現病歴：数か月前から起床時の尿が赤いことが時々あった。特に風邪をひいているときに赤い色の尿が出るが多かった。発熱や痛みはなく、残尿感や頻尿もない。最近になり、階段を昇ると息切れがするようになったため受診した。

既往歴：特記すべきことなし。薬物の内服なし。

身体所見：身長 170 cm, 体重 65 kg, 体温 36.2°C, 脈拍 70 回/分(整), 血圧 120/74 mmHg, 呼吸数 16 回/分。眼瞼結膜に貧血を認め、眼球結膜に黄染はない。心音・呼吸音に異常なく、肝・脾・腎は触知しない。浮腫はない。皮膚や粘膜に出血斑はない。

■ 診断の進め方

特に見逃してはいけない疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

頻度の高い疾患 (考えられる疾患をできるだけ挙げる)

ここに記入

■この時点で何を考えるか？ 医療面接と身体診察を総合して考える点

(可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる)

ここに記入

診断仮説 (仮の診断) (可能性が高いと考えられる疾患を挙げる)

ここに記入

■ 必要なスクリーニング検査 (診断を絞り込むために必要な検査を挙げる)

ここに記入

■ 検査結果

尿試験紙法：潜血(3+)，糖(-)，蛋白(+)，ビリルビン(-)，ウロビリノゲン(+)。

尿沈渣：赤血球 1~4/HPF，白血球 1 未満/HPF，円柱なし。

血球・血液生化学所見：WBC 3,400/ μ L(Band 3, Seg 52, Eos 2, Bas 1, Lym 37, Mon 5)，RBC 265万/ μ L，Hb 8.6 g/dL，Ht 27.3%，網赤血球 3.0%，Plt 9.9万/ μ L，TP 6.9 g/dL，Alb 3.9 g/dL，UN 13.0 mg/dL，Cr 1.0 mg/dL，LD 1,035 U/L，AST 50 U/L，ALT 36 U/L，総ビリルビン 1.6 mg/dL，直接ビリルビン 0.4 mg/dL，CK 85 U/L，CRP 0.18 mg/dL。

診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

ここに記入

■ **診断確定のために**（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

ここに記入

診断 (診断結果を記入)

ここに記入

■治療の基本方針 (診断を受けて必要な治療を挙げる)

ここに記入